要求性能（案）

No.	分野	荷重	要求性能		部材種別	基本性能	限界状態	評価性能	照査指標	照査（S≦R）		照査方法（案）
			上位の表現	中位の表現						応答値S	限界値R	
1	継手	設計供用期間中に作用する静的荷重	破壊しない、構造系の破壊に影響を及ぼさない	①継手の作用力が継手の最大耐力を超えない	継手	構造安全性	静的荷重による破断（中位の①）	最大耐力	引張強さ	継手に作用する引張強さ	母材の引張強さ	・引張試験 ・曲げ試験 （必要に応じて圧縮試験）
				②継手の作用力が継手の降伏耐力を超えない			降伏限界（中位の②）	降伏耐力	応力	作用応力	限界応力	
				③継手の強度が母材の強度を著しく下回ってはならないか、強くなければならない			静的荷重による破断（中位の③）	最大耐力	引張強さ	継手に作用する断面力	破壊断面力	
		設計供用期間中に常時作用する変動荷重	疲労破壊しない、または、部材の重要度によって決まる疲労限界を超えない				疲労限界	疲労強度	応力または疲労損傷度	想定される変動荷重によって累積する疲労損傷度	限界疲労損傷度	・疲労試験
2	鋼床版	設計供用期間中に作用する静的荷重	損傷しない	①部材が降伏しない	鋼床版	構造安全性	降伏限界（中位の①）	降伏耐力	応力	作用応力	限界応力	・構造解析
				②部材が局部座屈しない			座屈限界（中位の②）	座屈耐荷力	応力	作用応力	限界応力	
				③部材が全体座屈しない			座屈限界（中位の③）		荷重	外力	限界荷重	
		設計供用期間中に常時作用する変動荷重	疲労破壊しない、または、部材の重要度によって決まる疲労限界を超えない		鋼床版		疲労限界	疲労強度	応力または疲労損傷度	想定される変動荷重によって累積する疲労損傷度	限界疲労損傷度	・構造解析 ・疲労試験
3	耐久性	設計供用期間中の大気環境	腐食による悪影響が発現しない	防錆性能が保持される								
4	維持管理性	設計供用期間中に作用する環境因子	維持管理が確実かつ容易であること									
5	施工性		標準ボルト（HTB）と同等の作業性を有すること									・施工性確認試験